

第4回 航空ECO川柳コンテスト受賞作品

昨今の環境問題への懸念に対し、JAPAとして航空に関するエコを皆様と考えていただきたく、今年も第4回 航空ECO川柳コンテストを2018年7月9日から8月26日までの間、開催いたしました。今回は、これまでの中で最多となる1,156作品もの応募をいただきました。たくさんのご応募誠にありがとうございました。多数の作品の中から、選評会を9月5日にJAPA会議室で開催いたしました。入選作品を皆様にご紹介いたします。なお入賞作品は2019年パイロット手帳に掲載させていただきます。

 <p>最優秀賞</p> <p>飛行機も人も地球の乗組員</p> <p>R Y J</p>	 <p>優秀賞</p> <p>風捉え ハイブリッドの エコ飛行</p> <p>アカエタカ</p>	 <p>優秀賞</p> <p>安全と エコフライトは プロの業(わざ)かかし</p>	 <p>優秀賞</p> <p>航空機 燃費良い子は エコひいき</p> <p>コタロウ</p>	 <p>優秀賞</p> <p>エンジンは 唸らず燃費 やじろべるべー</p>
---	---	---	--	---

<p>作者説明</p> <p>乗組員みんなの協力により、地球は宇宙を安全に飛行できる。</p>	<p>風で燃費が相当違うそうです。風を利用してのエコ飛行を期待します</p>	<p>飛行機は安全第一ですが、エコフライトは地球が喜びます。</p>	<p>燃費が良く環境に優しい機体をえこひいきするのがエコを大切にすることにつながる、ということでした。</p>	<p>エンジンの進化には目を見張るものがあります。</p>
---	--	------------------------------------	---	-------------------------------

 <p>審査員特別賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エコ飛行 風と星座が 伴走者 <small>となみ</small> ● 青い空 軽い機体に 上機嫌 <small>かた こりこ</small> ● 飛行機に 乗るたび機内誌 軽くなる <small>千住ちひろ</small> ● 夢じゃない 太陽光で 飛ぶ時代 <small>エコの達人</small> ● いつまでも 青い地球に ランディング <small>さごじょう</small> ● 軽量化 ケチちやいませ エコでっせ <small>あけたん</small> ● 温暖化 防ぐ機体(期待)の 電動化 <small>Akiki</small> 	 <p>E C O 賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そだねーと 地球ささやく エコ飛行 <small>イナバウワーの白兔</small> ● エコ飛行 地球を救う 技術力 <small>しなやかーる</small> ● 今日も飛ぶ エコと安全 ニ刀流 <small>やじろべー</small> ● 天の川 エコ飛行への 誘導灯 <small>エコの達人</small> ● 未来への 航路を決める エコ技術 <small>Akiki</small> ● 飛行機も 働き方を エコに変え <small>歌仙草</small>
---	---

選考委員コメント

受賞者の皆さま おめでとうございます

* 色々な作品に触れることが出来、応募者として参加したいと感じるほどでした。判りやすい句が選ばれるのだなあという印象を持ちました。

* 品がありながらもユーモアで笑い飛した作品を選びました。また「ニ刀流」「そだね」といった今流行の作品も多数ありました。

* 多くの方が地球環境に関心を持っていることを意識し、優秀な作品を選ぶことが出来ました。

* こういった催しをきっかけに航空業界全体でECOの意識が益々高まっていくことを期待しております。

【選考委員】 棚瀬 篤 (読売新聞)、飯島 朋子 (宇宙航空研究開発機構)、青木 勝 (航空写真家)、籠田のぞ実 (カオ出版)

